

令和8年度第1回 学校運営協議会 議事録

校名	府立思斉支援学校
校長名	彌永 美佳

開催日時	令和8年6月1日(月) 10:00~11:00
開催場所	府立思斉支援学校 3階 学習室
出席者(委員)	狭間委員(太子橋小学校長)、原委員(今市中学校長)、山中委員(豊里学園長)、三木委員(旭区障がい者基幹相談支援センター管理者)、江木委員(大宮連合振興町会大宮第16町会長) 中委員(P T A代表)
出席者(学校)	彌永校長、掛田教頭、野村教頭、酒井康次首席、酒井友行首席、水江首席、大場首席、中村高等部主事、杉浦中学部主事、正木小学部主事、山田進路指導主事
傍聴者	0名
協議資料	令和8年度学校経営計画 令和7年度進路状況表 令和8年度使用教科用図書(選択・採択)一覧表

議題等(次第順)
<p>1、校長あいさつ</p> <p>2、令和8年度 委員紹介</p> <p>3、令和8年度 事務局紹介</p> <p>4、会長・副会長の選出</p> <p>5、議案</p> <p>(1) 令和8年度学校経営計画について</p> <p>(2) 令和7年度進路状況について</p> <p>(3) 令和8年度使用教科用図書について</p> <p>(4) その他</p> <p>事務連絡</p>
協議内容・承認事項等(意見の概要)
<p>1、校長あいさつ</p> <p>今年で開校87年め、私で26代めの校長。前校長が築いた方向性を守りながら、取り組みを進めたい。</p> <p>2、令和8年度 委員紹介</p> <p>3、令和8年度 事務局紹介</p> <p>事務長上野は欠席。</p> <p>4、会長・副会長の選出</p> <p>事務局より会長に狭間氏、副会長に原氏を推薦。全員一致で承認される。</p> <p>5、議案</p> <p>(1) 令和8年度学校経営計画について</p> <p>校長よりスライドにて説明。めざす学校像については引き続き、「明日も行きたいと思う学校」、豊かなころ、楽しむ力、体力、コミュニケーション力の4つを柱とする。</p> <p>◆中期目標について</p> <p>1 児童生徒が安全安心な学校生活を送る事ができるよう体制を整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権、体罰防止、防災等を柱としている。 ・人権研修を年間3回計画している。 <p>2 児童生徒及び保護者のニーズに応じた教育活動が展開できるよう教職員の専門性を高め、資質の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の質を高めるために研究授業研究協議会を充実させる。 ・自立活動主任を中心に校内支援を充実させる。 ・外部機関との連携を強化していく。

- 3 特別支援教育のセンター的機能を発揮し、地域との連携強化による総合的な支援体制を充実させる。
- ・地域学校園への専門的支援について、より地域学校園に還元できるような内容で公開講座を実施する。
 - ・交流及び共同学習においては、居住地校交流の充実を図る。
 - ・積極的に情報発信をするためにブログ等を活用する。
- 4 小学部・中学部・高等部の継続性のある系統的なキャリア教育を実践する。
- ・系統的なキャリア教育に向けて、進路学習会を実施していく。
 - ・小中高をつなぐ学びについては、接続する各学部の職業に関する授業見学、体験の実施や校内外の実習等の充実を図る。また、地域連携として旭区の自転車整備を実施する。
 - ・社会参加を見据えた力を育てるために高等部職業コースの新カリキュラムを準備する。
- 5 学校教育活動全般及び学校経営・運営の全般において、ICT の積極的・効果的な活用を推進する。
- ・ICT を授業改善の1つの手段として効果的に活用するために研修を実施し、授業の質向上を図る。
 - ・業務改善として校務支援システムを活用していく。
 - ・働き方改革をすすめ、定時退庁日を徹底する。

◆本校の狭隘化について

- ・本校は、特別支援学校設置基準を満たしていない。茨田高校の跡地に R10 年度新しい支援学校が開校予定。そのため通学区域が変更となる。

◎質問及び意見等◎

委員)

- ・分かりやすいスライドだった。バランスよくまとめられていた。
- ・働き方改革 時間外勤務は減っているのか。

事務局)

- ・減っている。内訳としては子育て中の時短教員が多くいる。それらの教員が早く退勤している分が反映されているので、減っているというのもある。

委員)

- ・新システムとはどのようなものなのか。

事務局)

- ・府下で統一した校務支援システムを使用することになった。昨年度より説明等をしながら進めており、本年度から少しずつ実施していている。不具合などもあるが、確認しながら進めている状況である。

委員)

- ・校種は違うが基本は変わらない。安心安全が一番大事。避難訓練・不審者対応など。子どもの反応が難しいが、地域と連携しながら、訓練をすすめてもらえれば。アレルギーにも気をつけて取り組んで ください。

委員)

- ・授業力の向上について、新任の先生は何人いるのか。
委員の学校には2名の新任がきた。若手教員へのアプローチの仕方はどのようにしているのか。

事務局)

- ・今年度の新採用は6人。月1回程度、新任や経験の浅い教員を集めて自立活動主任からの研修、座談会を行っている。

委員)

- ・狭さについて、適正規模はどれくらいなのか。

事務局)

- ・昔は設置基準が無かったので、適正規模と言ってたが今は使わない。本校の大きさで何人の在籍数が望ましいのかは、教育委員会が把握していると思う。

委員)

- ・心理的な安心について

スクールカウンセラーの配置・地域と比べて少ない。悩みに対して心理士さん等へのアプローチなどできれば。保護者への周知も必要ではないか。

事務局)

- ・府立の支援学校にはスクールカウンセラーを派遣する制度はない。高等支援はスクールソーシャルワーカーの配置が行われている。府立の支援学校には社会医療人材活用事業（PT・OT・ST・心理士）があり、希望をとって必要な数だけ配置されている。

委員)

- ・外部連携について
昔は事業所と学校の距離が近かった。昔のやり方が正しいとは思わないが、今の時代に沿ったやり方ができれば。相談支援も入って今のやりかたになってきた。放デイに関する研修会もあればいいのでは。

事務局)

- ・ケース会議や、放課後等デイサービスが児童生徒をお迎えに来たときに日々の様子等の情報共有をしている。あくまで保護者とデイサービスの契約なので詳細についての共有が必要な場合はケース会議を開催している。保育所等訪問支援事業では、どの学部にも授業見学にたくさんの事業所が見学に来られている。

委員)

- ・防災訓練に昨年度参加させていただいたので、今年度もお願いします。
センター的機能について他校との取り組みについて具体的な数値はあるのか。

事務局)

- ・回答があった全ての学校から有用だったと報告を受けている。昨年度の回答は100%だった。

委員)

- ・卒後の進路に向けて、実習先の具体的なことを教えて欲しい。
子どもの意思決定について、どうなっているのか。

事務局)

- ・現在、114社の情報を持っている。毎年変わるため、確認は必要。職種は様々。接客・製造・スーパーなどのサービス業。生徒が希望を持っている場合もあるため、新規開拓し、実習受け入れをしてもらっているケースもある。

委員)

- ・地域代表として、防災訓練の地域の住民の参加率が上がれば良いと思う。
生徒数の増加について、一般的には少子化なのに矛盾しているように感じた。
地域の学校と支援学校の統合はできないか？日本全体のバランスの取れた教育が必要ではないか。
地域として協力して行ければと思う。

委員)

- ・私立とは予算的に違うので難しいこともあると思うが、子どもが明日も行きたい・保護者が明日も行かせたいと思える、将来につながる取組を進めて欲しい。
行政や公立は、保護者から聞かないと情報が出てこない印象があるが、開かれた学校を希望している。福祉サービスの情報について学校やPTA主催で、地域に向けて取り組みができれば良いと思う。

委員)

- ・進路について他の高等支援学校に進学される生徒もいる。思斉の高等部の特色が伝わっていないのではないか。

委員)

- ・防災訓練の実施について何日の何時に訓練を実施すると設定していると思うが、主要な先生しか知らない状態でのいきなりの訓練があっても良いのではないか。

事務局)

- ・ブラインド訓練は難しい。教職員だけならいいかもしれないが、児童生徒がいるときは特に難しいと感じている。

今年度の学校経営計画について、拍手で承認される。

(2) 令和7年度進路状況について

- ・本校進路指導主事より別紙資料に沿って報告。

就労継続支援A型は0人。事業所の数が少なく、保護者が作業内容が難しいと感じていることが考えられる。

- ・就労移行支援事業所について
訓練を経てから就職したいという希望。
- ・自立訓練は5名。ニーズは高まっており、内容も様々ある。
- ・就労継続支援B型のニーズは高まっている。進路の多くを占める。校区内でも事業所が増えており、作業内容も様々。保護者も魅力的に感じている面がある。
- ・別紙資料には記載無いが、就労選択支援事業については昨年度より注目されている。
- ・未定者について
施設入所の生徒が1名。守口周辺のB型事業所を利用予定者が1名。大阪府夕陽丘高等職業技術専門学校受験予定の2名については保護者からの連絡を依頼している。

(3) 令和8年度使用教科用図書について
事務局)

- ・小学部は絵本が多い。
- ・中学部は検定本が増えてきている。社会、理科、職業・家庭
- ・高等部はビジネスマナーについての本を使用している。

(4) その他

- ・学校運営協議会への意見書について
意見書の提出はなし。

委員)

進路について

- ・就労継続支援AとBで賃金が大きく違う。就Aは金銭的に自立できる。保護者の希望にも金銭的な自立がある。昨年度も数名は就Aにいけたのではないかと思っている。
自分が進路相談をするなら就労移行より能力開発校を進めるかなと思う。入りにくかったりするが、委託されており内容的にも充実している。機会があれば情報提供をしたい。

委員)

- ・児童生徒が帰るとき、デイの車が数珠つなぎになっていると聞いている。車が入れられず困った場面があったことも聞いた。

事務局)

- ・本校は駐車場が無く、やむなく南門前にデイの車が駐車している。先日、デイ向けに説明会を実施した。ルールを守るように定期的に伝えている。

委員)

- ・同様に小学校にも苦情がくることもあり、その時は放課後等デイサービスに連絡をしている。

次回の会議日程

日時	令和8年11月下旬
会場	思斉支援学校 学習室3